

西上州の 鱸岩

荒船山



実施日 2013年11月2日(土)
 天候 晴れ
 リーダー 鈴木 政三
 参加者 若村貴世子、若村勝昭、涌井良明、島本陳重、鈴木政三、小村井好枝、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、小名秀鋭、佐藤政司、瀧澤きよの 計15名
 費用 島本、渋谷、石原 勝正各氏提供の車利用 2,000~3,000/人
 タイム 内山峠登山口(10:00/10:15)一杯水(11:30)鱸岩展望台(11:55/12:25)行塚山(13:00/13:10)鱸岩展望台(13:45/13:55)一杯水(14:15)内山峠登山口(15:20)

当初計画では荒船不動尊に下山する予定であったが、星尾峠への下り木段に崩落箇所があるとこの事前情報により内山峠からの往復登山に変更した。この為、車でのアプローチが可能となった。

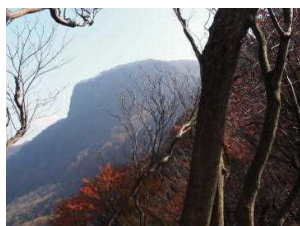
内山峠は旧国道254号線に入り、パーキングは道沿いにある。紅葉の季節のためか満車状態、トイレは無い。注意



看板を見て登山道に入る。小さなアップダウンを繰り返しながら行くと

ハンクした巨大な岩壁の前にでる。昔の修行場跡か、何か祀られている。

岩壁の右側を抜けていくと紅葉した木々の隙間からこれから登る鱸岩(200m程の岩壁)が見え隠れする。一杯水は木橋の左上にあり、岩壁を少し登らないとコップが届かない。足場はだんだん岩っぽくなり、所々に鎖、虎ロープ、梯子が取り



付けられている。水がしみ出ている箇所があり滑りやすく下りの時は注意が必要。登りきると笹と雑木林の平坦地に出る。左側が切れ落ちた鱸岩展望台。眼下には紅葉に抱かれた曲線を描く国道254号線



とその橋梁の風景が素晴らしい。

展望台には手摺が無いので注意が必要(普通の状態なら転落するような場所には見えないが、事実転落している人がいる)。展望台の近くに休憩所があり雨の時は便利。トイレは壊れており閉鎖中。



ここからは船の甲板の部分にあたり平坦な台地が続く、陽を浴びながらの草原ハイク。途中小さな沢を渡る、水源もある。



前方に船の船首にあたる行塚山が見えてくる。80m程の急坂を登りきると三角点のある最

高地点。頂上には石祠が鎮座している。

下山は往路を戻る。往路と変わった角度から見る紅葉景色を堪能しつつ登山口に戻る。

車でのアプローチで早い時間に下山でき、荒船の湯で汗を流して帰ることができました。車の提供と運転して頂いた方には感謝申し上げます。有難うございました。



(記・鈴木 政三)

(写真提供・涌井良明/伊藤久雄)